

IV章 構想実現のための基盤施策

1 教育・研究機関の改革



① 目的

- ◆ 海洋・水産の学術研究拠点都市構築により、教育・研究機関と地域とが連携・相互活用し、技術集積、産業振興、人材育成を行います。

② 主要施策

◆ 「宇和島海洋学園都市」の形成

- ・ 大学等の教育機関、試験場等の研究機関などの誘致
- ・ 現教育・研究機関の改革と整備

ex) 教育機関の改革

- ・ 海洋ビジネス科の新設（環境ビジネス・観光ビジネス・貿易ビジネス専攻等）
- ・ 海洋政策文化科の新設（心理学・海洋産業コンサルタント専攻等）
→ 海洋都市全体を構成する人材の育成
- ・ 大学推薦枠開拓（愛媛大学・東京海洋大学・近畿大学等）
→ 優秀な人材の獲得・輩出
- ・ 大学・水産試験場・各海洋都市研究機関との連携
- ・ 地域（企業・行政・市民）との連携



③ 予想される効果

- ◆ 海洋・水産に関する学術研究の集積、地域との連携強化。
 - ・ 新産業（貿易・観光・環境ビジネス）の創出。
 - ・ 新技術の開発、ニーズの発掘。
 - ・ 既存産業の合理化、品質向上による振興。
 - ・ 地域への優秀な人材の獲得・輩出。
 - ・ 関係者による人口増加、消費に伴う経済効果（学生、教員転入 コンベンションの開催）
 - ・ 地域社会活動の活性化ができます。
 - ・ 地域の学術、技術、教育水準の向上ができます。

